

# 事業結果要約報告書

受付番号

2022 KJ-007

－科学技術振興関係－

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

令和5年3月30日

所属機関名 広島干潟生物研究会

申請代表者

役 職 事務局長

フリガナ クヤ ミツオ

氏 名 く や み つ お

マツダ財団から受けた 助成金 200 千円 による事業結果について、  
次のとおり報告します。

助成事業名

第7回 広島ジュニアサイエンスフェア

(事業期間：令和5年3月21日～令和5年3月21日)

	計 画	実 施 結 果
事業内容	日時 令和5年3月21日 場所 広島市青少年センター 対象 青少年・一般 定員 300名 内容 科学研究発表、ポスターセッション、講演、実験 ブース、体験コーナー、獣医師体験、ふしぎ写真展	日時 令和5年3月21日 場所 広島市西区民文化センター 対象 青少年・一般 参加者(人) 午前の部211名、午後の部170名 内訳 (小中高の先生；5人) (生徒；約200人) 内容 科学研究発表、ポスターセッション、米国とのズ ーム対談、実験ブース、体験コーナー、獣医師体験、ふ しぎ写真展と撮影教室 等 発表；6件、シンポジウム；1件

## 事業結果報告

### 事業の目的・ねらい

児童・生徒による科学研究の口頭発表、ポスターセッション、科学実験ブース運営、科学写真展、及び獣医師などの専門家による体験コーナー等を通じて、参加者に楽しみながら科学的素養を培ってもらい、科学技術や科学研究の振興に役立てる。

### 事業の概要

当初は会場を広島市青少年センターに予定していたが、多数の部屋の事前予約が困難ということで、会場を西区民文化センターに変更した。会場がせまくなったことに伴い、午前の部、午後の部の2部制とした。

○期日 令和5年3月21日（火／祝）

○場所 広島市西区民文化センター 大会議室（A+B+C）、ギャラリー

○対象 青少年・一般

○内容

**科学研究口頭発表** …… 小学生3、中学生2（昨年は小2、中2、高2）

いずれも広島市科学賞、広島県科学賞で高く評価された研究作品であり、そのうち小学生の1点は県科学賞で最優秀の特選を受賞したもの、また中学生の1点は旺文社全国学芸サイエンスコンクールで全国2位に相当する審査委員特別奨励賞を受賞したもの。

**科学研究ポスターセッション** …… すべてA1サイズのカラー印刷のもので、展示枚数は10点。

**ズーム対談** …… 新企画。中・高校生の頃、このサイエンスフェアで研究発表やブース運営を経験し、現在アメリカに留学中の大学生と、オンラインでつないでの対談。留学に至った心境、現地での大学生活のようすを伝えてくれ、世界的な視野で物事に取り組む大切さを語り、日本の子どもたちに意欲を与えてくれた。

**実験コーナー** …… 12ブースを準備。中学生だけでなく、事前研修を受けた保護者、(株)ナリカの専門家も指導に加わった。

**体験コーナー** …… 獣医師6名による獣医師体験コーナーは今年は手術着、手袋を着用しての体験であり、子どもたちは緊張しつつも真剣に取り組んでいた。寄生虫コーナーでは、多くの標本や模型、書籍などを展示して展開され、獣医師であり寄生虫の専門家でもある担当者の説明に説得力があった。

**科学写真展** …… 「ふしぎ写真展」のタイトルで、A4サイズの写真59点を展示。スマホ撮影体験（偏光フィルターによる特殊撮影技術）コーナーを設置し、好評であった。

**実験教材の無料配布** …… 葉の周縁から芽が出て繁殖するベンケイソウ類の苗を無料で配布した。

**カブトガニコーナー** …… 大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）の協力により、生きたカブトガニ幼生の展示、解説パネルの展示も行われた。

**宮古島キャンプの案内** …… 昨年開催された宮古島キャンプの様子の動画を開会行事のあと放映し、オープン参加の企画であることを伝え、参加を呼び掛けた。

### 成果・効果

近年の2回はいずれも多数の応募者があったものの、コロナ禍にあって直前に中止を宣言し、代替えとして2カ月遅れで研究発表と講演のみの内輪の会を行った。今年度は3年ぶりの本格開催となった。

#### 【参加者への効果】

- ・科学研究の口頭発表やポスター発表を見たり聞いたりした子どもたちは、その充実ぶりに圧倒され、また保護者、教師も、科学研究の重要性を再認識していた。今回は発表が冗長になるのを防ぐため、口頭発表の点数を5点に絞って行ったのも好評だった。特に、県の特選を得た小学生のトンボの単独研究、旺文社で全国2位を受賞した中学生のカニの共同研究の発表に、聴衆は刺激を受けていた。本事業がめざす、多くの子どもたちに自ら課題を発見し探究する態度の育成に大いに貢献したとおもわれる。
- ・獣医師体験に応募者が殺到することが予想されたため、感染症対策として対象を小3以上にした。人数を絞ったことで、1人1人の体験時間が長くなり、手術着をまとっての模擬注射、模擬診断に子どもたちは夢中になった。技術を学ぶ体験に満足するとともに、動物愛護、生命尊重の心が育まれた。
- ・多数の実験体験コーナーを巡りながら、全体を通じて、さまざまな科学現象や科学技術に触れることができ、満足度の高い催しであった。
- ・ポスター発表者、ふしぎ写真展の展示者も、参観者とのやりとりを通して達成感を味わい、次年度への意欲が向上した。
- ・実験ブースでは処理しきれないほどの参加者を抱え、担当者はその反応から、十分な手ごたえを感じた。

- ・写真展の会場では、傍らに体験コーナーを用意し、パソコンが出す偏光を利用してプラスチック容器が虹色に光るようすを参加者がスマホで撮影できるようにした。このブースは大人気で、説明するジュニア写真家たちは達成感を味わった。

#### 【地域への効果】

- ・今回は、チラシの配布は広島市内の小・中学校にとどめたが、近隣市町からの応募も相次いだため、広範囲に効果が及んだことがうかがえる。
- ・これまでの参加者の保護者どうしで情報が伝わり、応募者が増えている。地域に根ざして広がりを見せていることがうかがえる。
- ・科学研究作品の大作のものについては、2ページ分を割り当てじゃすふぁガイドを編集したため、説明が丁寧で図も多用できるようになった。今後、じゃすふぁに参加できなかった方、指導者や保護者などがこの資料を参考にして、子どもたちへの指導に役立てられ、これが地域への広がりとなることが期待できる。

#### 【その他の効果】

- ・獣医師の有志の方々、企業が協力的であり、ボランティアでブース参加していただいた。とりわけ、6名もの獣医師がおいでくださり、70名に上る子どもらが、手術着を着用しゴム手袋とマスクを身に付けて獣医師体験を行うことができた。今後、この輪を広げることで、より多くの実験や体験が可能となるであろう。

写真、図



【科学研究発表】



【獣医師体験】





【ふしぎ写真展】



【実験ブース】